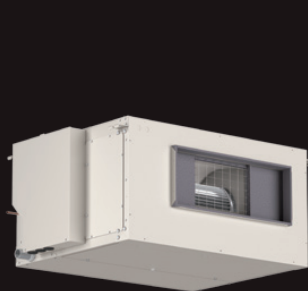
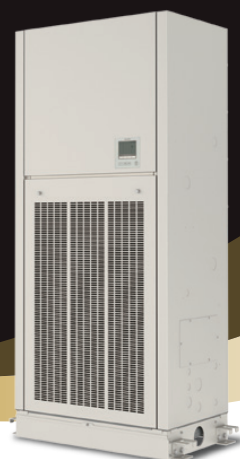


R32冷媒採用機種 新登場!

設備用途に求められる信頼性はそのままに、
環境負荷低減に貢献するR32冷媒を採用。
脱炭素社会に向けたニーズにお応えします。



工場用天吊形



ファシレアDD

ラインアップ

ファシレアDD

3馬力 5馬力



使いやすさとメンテナンス性を
追求した設備用空調の新定番!

ファシレアDD
オールフレッシュタイプ

5馬力



省メンテナンスで新鮮な
外気を導入。

工場用天吊形

5馬力



天吊設置で床スペースを
有効活用。

なぜ今、R32冷媒なのか?

2027年4月より、設備用パッケージエアコンはフロン
排出抑制法に基づき、指定製品^{※1}となります。
省エネ性能や環境負荷低減への要求が高まる中、三菱
電機は地球温暖化係数(GWP^{※2})の低いR32冷媒を採用
した新機種をラインアップ。脱炭素社会に向けたニーズ
にお応えします。

指定製品化制度 目標値
GWP 750^{※3}

R410A冷媒
GWP
2,090

R32冷媒
GWP
675

地球温暖化
係数
約 $\frac{1}{3}$ ^{※4}

R32冷媒を安心してご使用いただくために

R32冷媒は微燃性冷媒(A2L)に分類されています。安心してご使用いただくため、日本冷凍空調工業会
が定めるガイドライン(JRA GL-20:2022^{※5}・GL-19:2025)に基づき、安全対策が必要となります。

JRA GL-20・GL-19に基づく安全対策 <日本冷凍空調工業会ガイドライン「JRA GL-20」「JRA GL-19」>

JRA GL-20^{※5}

特定不活性ガスを使用した冷媒設備の冷媒
ガスが漏えいしたときの燃焼を防止するた
めの適切な措置

JRA GL-19

微燃性(A2L)冷媒を使用した設備用エ
アコンの冷媒漏えい時の安全確保のため
の施設ガイドライン

安全対策の方式

*安全対策要否判定は日本冷凍空調工業会「JRA GL-20」「JRA GL-19」からご参照ください。

必須

検知器

+

警報装置

*床置トルボイ室内機^{※6}の場合、
検知器の内蔵が必須です。
*検知器は5年ごとの交換が必要です。

かくはん機能の搭載

床置トルボイ
室内機^{※6}の場合必須

安全装置の選択

換気装置

OR

遮断装置

※1. 新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限り、電算機用、中温用、一体型等の特定用途対応機器等を除きます。(出典: JRA GL-20:2022を一部変更)

※2. GWP: CO₂を1とした場合の温室効果の強さを示す値です。

※3. 2027年度から設備用パッケージエアコンは指定製品となり、製造事業者には使用冷媒のGWPを加重平均で750以下を目標とする基準が設定されています。(出典: JRA GL-20:2022を一部変更)

※4. 出典「IPCC第4次評価報告書」温暖化係数(GWP)100年値。2,090(R410A)と675(R32)との比較です。

※5. 本製品はGL-20の適用範囲外です。GL-20に関する記載は、関連情報として掲載しています。

※6. 高さが1.5m以上のものであって、室内の床面に置かれ、主に水平方向に温調された空気を吹き出す、かくはん機能を搭載した、空調システムで使用される室内機です。(出典: JRA GL-19:2025の3.2を一部変更)

三菱電機なら安全対策を標準搭載!

1 冷媒センサーを室内ユニットに内蔵

室内ユニット内に冷媒センサーを標準搭載。
万一の冷媒漏えいをすばやく検知します。



冷媒センサー



3 安全遮断弁を室外ユニットに内蔵

室外ユニットに安全遮断弁を標準搭載。
別途、遮断弁キットの設置は不要です。



安全遮断弁の標準搭載で
施工の手間、コスト削減に貢献

2 MAスマートリモコン^{※7}に警報機能を搭載

冷媒漏えい検知時に、MAスマートリモコンが
音と点滅で異常をお知らせします。
見やすい画面で、状況を的確に確認できます。



警報機能
搭載!

※7. 工場用天吊形をご使用の場合、リモコンは室内ユニットには付属していませんので別途手配が必要です。

4 かくはん機能を搭載

冷媒漏えい検知時に室内ユニットが空間の空気をかくはんするた
めに送風運転(かくはん運転)を行います。本機能は床置形(床置
トルボイ室内機)に搭載が必須となっている機能ですが、当社
の工場用天吊形にも標準搭載しています。

